

令和6年度 第3回 坂井市地域公共交通会議(書面協議) 結果

1. 議 題 地域公共交通調査等事業の事業評価(計画策定に係る事業)について
(資料1・資料2)

2. 協議結果 承認扱い
(坂井市地域公共交通会議設置要綱第5条に基づく)

異議なし	回答なし
22名	3名

※委員数 25 名(会長除く)

3. 意見(質疑)に対する回答

意見 (質疑)	コミュニティバス改編によりコミバスを路線バス化したことにより利用者が減少していることについて、何か分析はしているか。
回答	(路線バスとオンデマンド型交通(イータク)の利用者数合計が改編前のコミバス利用者数に至っていない要因分析について回答します) 市民アンケートの結果、イータクの市民認知度が未だ低いことや、路線バスの分かりやすい情報提供が望まれていることから、市民周知が不足していることが要因の一つであり、併せて令和6年10月からのバス減便が更なる減少に結びついたと考えています。また、イータクについては、「予約や利用登録が面倒」「予約が取りにくい・方法が分からない」など、デマンド交通という新しい公共交通に馴染みがないため、利用を躊躇する市民が一定数存在すると推察されます。改編前のコミバスでは、運行開始から利用者がピーク(当初比約4割増)で推移するまでに約5年を要しており、周知や行動の変化に時間がかかったため、利便性や利用方法、アプリ予約の活用など、イータクの仕組みやバス改編に関し、早期に浸透を図ることが課題であると考えております。